

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年10月19日(2017.10.19)

【公開番号】特開2015-78178(P2015-78178A)

【公開日】平成27年4月23日(2015.4.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-027

【出願番号】特願2014-185087(P2014-185087)

【国際特許分類】

C 07 D 409/14 (2006.01)

H 01 L 51/50 (2006.01)

C 09 K 11/06 (2006.01)

【F I】

C 07 D 409/14 C S P

H 05 B 33/14 B

H 05 B 33/22 B

H 05 B 33/22 D

C 09 K 11/06 6 9 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月5日(2017.9.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(G1)で表される有機化合物。

【化1】

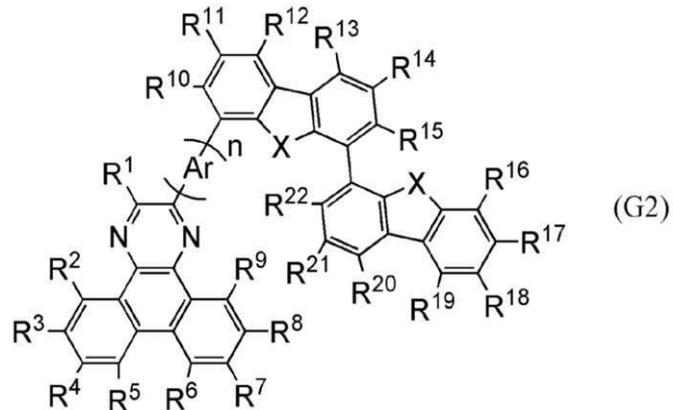


(但し、式(G1)において、Aは置換又は無置換のジベンゾキノキサリン骨格を表し、Bは置換又は無置換の4,4'-ビジベンゾフラン骨格又は4,4'-ビジベンゾチオフェン骨格を表す。またArは炭素数6乃至13のアリーレン基を表し、nは0乃至2の整数である。)

【請求項2】

式(G2)で表される有機化合物。

【化2】

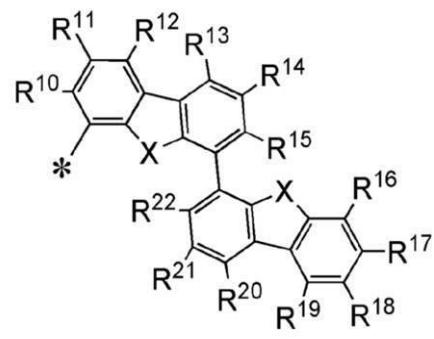
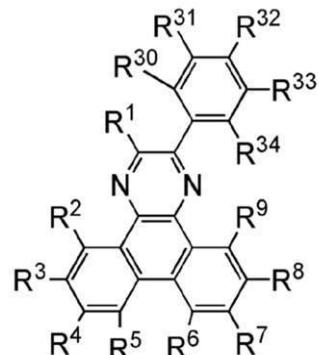


(但し、式(G2)において、Arは炭素数6乃至13のアリーレン基を表し、nは0乃至2の整数である。また、R¹乃至R²はそれぞれ独立に水素又は炭素数1乃至6のアルキル基を表し、Xは酸素原子または硫黄原子を表す。)

【請求項3】

式(g1)及び(g2)で表される有機化合物。

【化3】

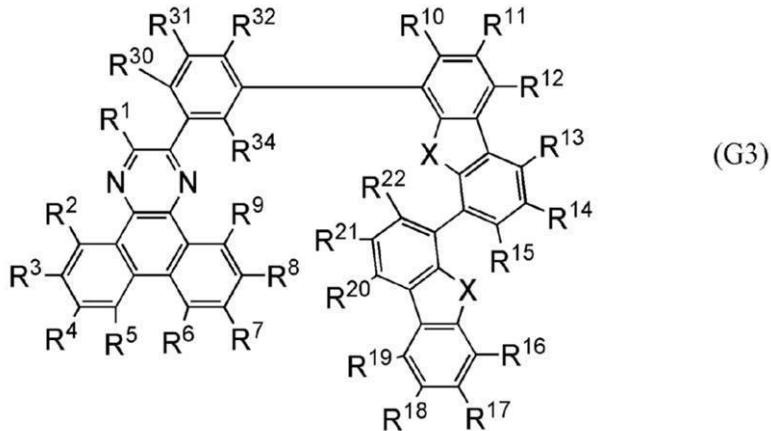


(但し、式(g1)および式(g2)において、R¹乃至R²はそれぞれ独立に水素又は炭素数1乃至6のアルキル基を表し、Xは酸素原子または硫黄原子を表す。また、R³乃至R⁴は、一つが、式(g2)で表される基を表し、*の位置で結合する。その他はそれぞれ独立に水素又は炭素数1乃至6のアルキル基を表す。)

【請求項4】

式(G3)で表される有機化合物。

【化4】

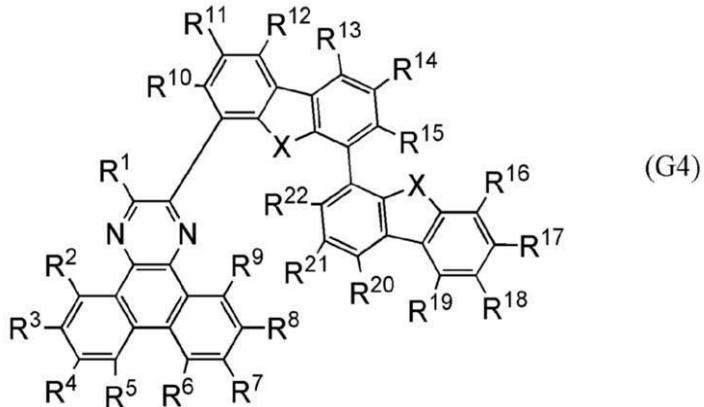


(但し、式(G3)において、R¹乃至R²、R³乃至R³²及びR³⁴はそれぞれ独立に水素又は炭素数1乃至6のアルキル基を表し、Xは酸素原子または硫黄原子を表す。)

【請求項5】

式(G4)で表される有機化合物。

【化5】



(但し、式(G4)において、R¹乃至R²はそれぞれ独立に水素又は炭素数1乃至6のアルキル基を表し、Xは酸素原子または硫黄原子を表す。)

【請求項6】

請求項1乃至請求項5のいずれか一項に記載の有機化合物を含む発光素子。

【請求項7】

請求項6に記載の発光素子を含むディスプレイモジュール。

【請求項8】

請求項6に記載の発光素子を含む照明モジュール。

【請求項9】

請求項6に記載の発光素子と、前記発光素子を制御する手段を備えた発光装置。

【請求項10】

請求項6に記載の発光素子を表示部に有し、前記発光素子を制御する手段を備えた表示装置。

【請求項11】

請求項6に記載の発光素子を照明部に有し、前記発光素子を制御する手段を備えた照明装置。

【請求項12】

請求項6に記載の発光素子を有する電子機器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 4 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 3 4 1】

【化 3 1】

